

ポストコロナに挑む福岡

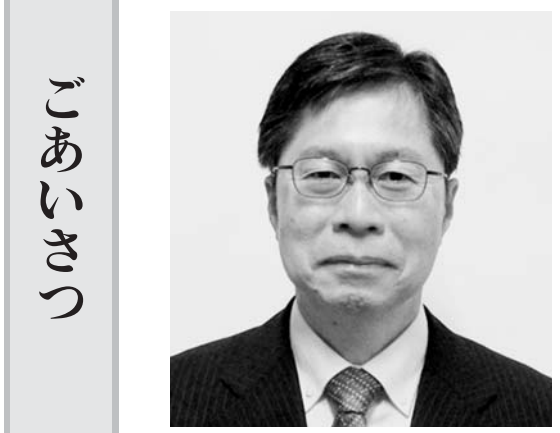
新型コロナウイルスが急ブレーキをかけた世界経済が徐々に動き始めた。産業界も慎重に操業のペースを戻している。コロナ以前とは違う時代に入り、開かれた産学官連携の重要性は増している。福岡県では福岡県工業技術センターを中心とする連携が進む。



福岡県工業技術センターは「県内中小企業の発展を支援する実践的研究開発機関」として、研究開発から企業の事業化までをきめ細かく支援するため、年間約1000件の「研究開発」や約1万件の「技術相談」のほか「人材育成」「試験分析」「情報収集・提供」「技術交流」に取り組んでいます。また、これらを組み合わせて、関連機関とも連携して総合的な支援を行っています。「コーディネート」も昨年度までに「ふくおか

福岡県工業技術センターは「県内中小企業の発展を支援する実践的研究開発機関」として、研究開発から企業の事業化までをきめ細かく支援するため、年間約1000件の「研究開発」や約1万件の「技術相談」のほか「人材育成」「試験分析」「情報収集・提供」「技術交流」に取り組んでいます。また、これらを組み合わせて、関連機関とも連携して総合的な支援を行っています。「コーディネート」も昨年度までに「ふくおか

センタークラブ(2001年設立、会員数273機関)では、工業技術センターを中心に、大学や産業界、技術機関なども積極的に連携し、技術開発へ果敢に取り組む会員企業の新技術・新製品開発や販路拡大支援などを実施しています。さて、冬に中国で発生した新型コロナウイルスは全世界へ波及する事態となりました。10年前のリーマン・ショック不況では中国の国内需要の喚起と海外市場を狙った供給力整備に向けての大型景気刺激策が世界経済へのカンフル剤となりました。しかし今回は従来の金融から発した景気低迷



「CAE支援ラボ」「高分子材料開発支援ラボ」「家具製作・評価支援ラボ」の四つの支援拠点を整備し、製品開発支援と人材育成に「一層力をいれているところ」です。さらに、福岡県工業技術センタークラブと連携して、IoTモノのインターネット)の導入支援も積極的に進めています。新型コロナウイルスは、経済に長期にわたる深刻な打撃を与え、社会をも大きく変えています。このような中、地域経済の回復には、中小企業が立ち直り、ポストコロナ社会に対応するための変革を進めていくことが重要です。当センターは、保有する支援機能を最大限に発揮して、企業の回復と変革、そしてその先の発展に向けた取り組みを力強く支援していきます。

福岡県工業技術センターは「県内中小企業の発展を支援する実践的研究開発機関」として、研究開発から企業の事業化までをきめ細かく支援するため、年間約1000件の「研究開発」や約1万件の「技術相談」のほか「人材育成」「試験分析」「情報収集・提供」「技術交流」に取り組んでいます。また、これらを組み合わせて、関連機関とも連携して総合的な支援を行っています。「コーディネート」も昨年度までに「ふくおか

「あまおう」から乳酸菌単離。生物食品研究所では、「あまおう」から乳酸菌の取り出し(単離)に成功した。本研究所の種々の特定と保存法の検討を行い、ラクチンバチルス・プランタラム・AMAOU(アマオウ)と命名した。本乳酸菌は大石化成(アマオウ)と共同で乳酸菌を活用した研究開発を進めている。

福岡県工業技術センターの4研究所

機械電子研究所

IOT関連基礎技術を普及

機械電子研究所では、県内中小企業にIoT関連基礎技術を普及させるため「センタークラブ主催 産性向上研究会」の活動を開始し、IoTの現場活用に必要な技術に関する実習と測定ノウハウなどの情報共有による実践的な勉強会を実施している。また、19年度に航空機産業技術支援センターを所内に新設し、県内中小企業にIoT関連技術の普及を図る。また、19年度に航空機産業技術支援センターを所内に新設し、県内中小企業にIoT関連技術の普及を図る。

インテリア研究所

デザイン改善、中小向け講座

インテリア研究所では、九州産業大学芸術学部と共同で、県内中小企業が抱えるデザインに関するさまざまな課題を解決する「デザインブラッシュアップ講座」を開講している。デザインが持つべき①課題を探索・発見する機能(話し合い、取材など)、②課題解決の方向性を見いだす機能(構想力、想像力、創造力など)、③解決の方向性を可視化する機能

生物食品研究所

「あまおう」から乳酸菌単離

生物食品研究所では、「あまおう」から乳酸菌の取り出し(単離)に成功した。本研究所の種々の特定と保存法の検討を行い、ラクチンバチルス・プランタラム・AMAOU(アマオウ)と命名した。本乳酸菌は大石化成(アマオウ)と共同で乳酸菌を活用した研究開発を進めている。

化学繊維研究所

薄くて軽い瓦葺材を開発

化学繊維研究所では、県内の繊維・ゴム・プラスチックなどの有機材料分野を主に対象として技術相談や共同研究開発などの技術支援を行っている。そうした中、県内の伝統産業である「城島瓦」に関し、城島瓦協同組合と共同研究に取り組み、新たに製品化に成功した。城島瓦は独特の「いぶし銀」を放つ屋根瓦が主

ふくおか産学官

福岡県醤油醸造協同組合

技術と品質の醸造生揚一貫生産工場

TEL 092-922-3831 FAX 092-928-3501

JFRL 日本食品分析センター

分析試験を通じて「健康と安全」をサポート

ホームページ <https://www.jfri.or.jp>

(株)久留米リサーチ・パーク

人と技術で未来を拓く

ものづくり企業、バイオ企業を応援します。

Techno-Tsukihoshi

たしかな技術で切り拓く未来

株式会社テクノ月星

非鉄金属の鍛造・加工・溶接のパイオニア

株式会社 戸畑製作所

鍛造と溶接

MULTI CHOKER マルチチョーカー

7月1日発売予定

株式会社ウエキモールド

お客様の計測データを全方位で支えます

九州計測器株式会社

最高品質の金型届けます

九州池上金型株式会社

福岡県工業技術センタークラブ

共創して目指そうオンリーワン!

クラブ会員募集中! (会員数:約270機関)

当クラブは、会員企業と福岡県工業技術センターとの「連携・共創」による技術開発や密接な情報交換を通して、ものづくり企業の競争力強化や販路拡大を目的に活動しています。

(会長: 株式会社川電機 代表取締役会長 津田 純嗣)

- ナノテク・材料技術部会: 繊維・無機・有機・金属材料等
- バイオ技術部会: 食品・バイオ等
- デザイン部会: デザイン・木質材料・住環境等
- 機械電子技術部会: 金属加工・CAD・CAE・EMC・IoT等

事務局 TEL:092-925-7400 FAX:092-925-7724 E-mail:c.club@fitc.pref.fukuoka.jp

IST 公益財団法人 福岡県産業・科学技術振興財団(ふくおかIST)

「システム開発技術カレッジ」の講座体系

- システム設計: ソフトウェア開発手法
- 品質・信頼性向上: 熱設計など
- 生産性向上: ものづくりなど
- 画像センシング: 画像処理など
- 通信ネットワーク: 技術など
- 情報処理: AIなど
- 電力・駆動制御: 電力制御、モータ制御など
- ハードウェア: 電子回路、集積回路
- ソフトウェア: 組み込みプログラミング、組み込みマイコン

受講企業 募集中!

全国各都府県・機械等特産品出張講座実施(一部オンライン講座対応)